

## オンライン国際会議

「Five years after HL Tau: a new era in planet formation」を終えて

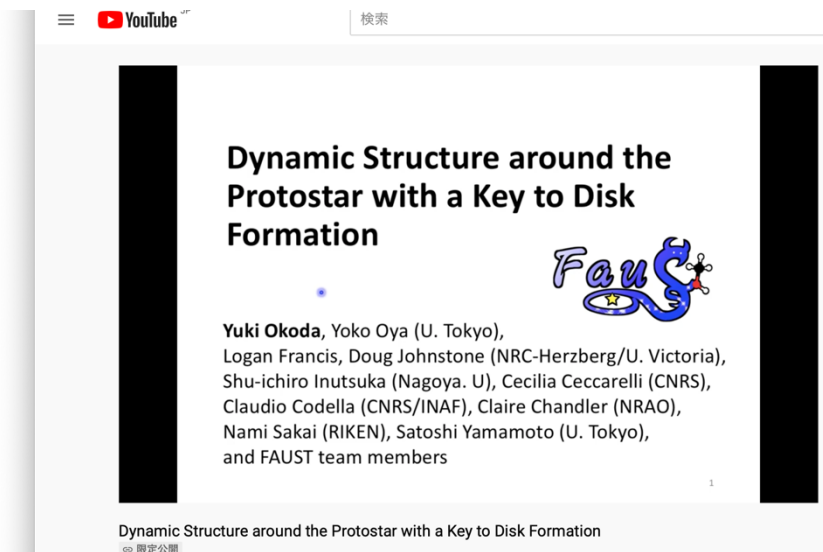
物理学専攻 D3 大小田 結貴

2020年12月7日から11日に上記の国際会議がEuropean Southern Observatory(ESO)によって開催され (<https://www.eso.org/sci/meetings/2020/hltau2020.html>)、私は自身の成果を口頭発表した。

この会議は、星(原始星)が誕生してから比較的進化が進んだ段階の天体についてをメインとした学会であった。私は原始星が誕生した直後についての研究を進めているため、系外惑星や後期円盤の研究については普段あまり聞く機会がない。この会議では、幅広い進化段階の星形成について学ぶことができ、私にとって非常に新鮮で有意義であった。


発表や質問には、Youtube や Slack が有効活用されていた。Invited Speaker 以外は Youtube に発表を事前にアップロードした。会議はヨーロッパ時間で行われたため、自身の時間に合わせて興味のある発表を視聴することが可能であり、見返すことができるため、時間を掛けて理解することができた。

当初は海外派遣として、カナダ国立研究機構(NRC)に訪れ、共同研究者と観測データの解析と論文出版に向けての議論を行う予定だった。実行できなかったことは非常に残念ではあったが、このオンライン会議においては、最新の幅広い星形成分野について、多くのことを吸収できたと思う。



The image shows a screenshot of a YouTube video player. The video title is "Dynamic Structure around the Protostar with a Key to Disk Formation". The slide content includes the following text:

**Dynamic Structure around the Protostar with a Key to Disk Formation**



Yuki Okoda, Yoko Oya (U. Tokyo),  
Logan Francis, Doug Johnstone (NRC-Herzberg/U. Victoria),  
Shu-ichiro Inutsuka (Nagoya. U), Cecilia Ceccarelli (CNRS),  
Claudio Codella (CNRS/INAF), Claire Chandler (NRAO),  
Nami Sakai (RIKEN), Satoshi Yamamoto (U. Tokyo),  
and FAUST team members

1

Dynamic Structure around the Protostar with a Key to Disk Formation  
限定公開